

# I 安定した雇用をつくる

※事業費は決算ベース



## 若者定着産業力強化事業

事業番号 1	UIJターン就活促進事業(地方創生)	決算額	1,101 千円
		所管課	商工課
財源内訳	国県 667 千円 市債 千円 その他 千円 一般 434 千円		
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>            地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIJ希望者が市内で面接を行う際の交通費を補助した。</p> <p>○大学訪問・支援機関訪問            専修大学、法政大学、駒澤大学、東海大学、福島大学、日本大学、郡山女子大学、会津大学、会津短期大学、いわき明星大学など大学・専門学校20校および移住・交流情報ガーデン、ふるさと福島就職情報センターなど支援機関</p> <p>○交通費補助金            UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(21件、167,300円)</p> <p>○就職情報誌(魅力ある事業所集)の作成            市内企業43社の採用情報を集めた情報誌を作成し、各大学や関係機関、市民などへ配布を行った。</p>			

## 若者定着産業力強化事業

事業番号 2	若者Uターン・地元定着促進事業(地方創生)	決算額	7,614 千円
		所管課	商工課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他 千円 一般 3,744 千円	3,870 千円	
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>            (一社)産業サポート白河に委託し、地元就職に繋がる情報の収集・発信を行い、若者の地元企業定着を促進した。また、29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏構想の枠組みで、人材不足対策や事業承継支援等を実施した。</p> <p>○人材不足対策            ・しらかわ企業データベースの充実 掲載企業265社(うち新規掲載5社、掲載内容変更52社)            ・企業紹介映像の作成 2社            ・雇用確保のための実践セミナー 1回、参加企業31社、41名</p> <p>○UIJターン促進            ・関係機関支援施策の利用促進 企業訪問時にニーズがあった支援制度の紹介を行い利用促進を図った。            ・インターンシップ促進 県委託事業と連携してインターンシップ受け入れ企業の拡充を図った。</p> <p>○事業承継支援            ・企業訪問を通して、しらかわ地域の企業が抱えている事業承継に関する課題等の調査を実施した。</p> <p>○知的財産の活用            ・しらかわ地域知財セミナー 参加者29名            ・福島県発明協会等支援機関との「橋渡し」強化 企業訪問7社</p>			

若者定着産業力強化事業

事業番号 3	金融機関と創る産業都市しらかわ事業(地方創生)	決算額	1,521 千円	
		所管課	商工課	
財源内訳	国県	1,087 千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	千円
				434 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>地元金融機関と連携し、市がブースを借り上げ、市のPR及び地元企業の販路拡大のため、イベントに共同出展した。</p> <p>○地方銀行フードセレクション2017</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程:平成29年11月9日、10日</li> <li>・会場:東京ビッグサイト</li> <li>・出展社数:3社+市</li> <li>・実績:複数の大手バイヤーとの個別商談の足がかりとなった。</li> </ul>  <p>【フードセレクション】</p> <p>○ビジネスマッチ東北2017</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程:平成29年11月9日</li> <li>・会場:夢メッセみやぎ</li> <li>・出展社数:7社+市</li> <li>・実績:複数の大手バイヤーとの個別商談の足がかりとなった。</li> </ul>  <p>【ビジネスマッチ】</p>				

若者定着産業力強化事業

事業番号 4	ふるさとビジネス創業支援事業(地方創生)	決算額	0 千円	
		所管課	商工課	
財源内訳	国県	千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	千円
				0 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>新たに起業を目指す創業者や事業承継を契機に新たな分野の事業に挑戦する第二創業者を支援するため、次の補助金を交付した。(上限200万円、補助率2/3)</p> <p>1. 対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)新たな需要又は雇用を創出する事業</li> <li>(2)事業に特徴があり、独創性かつ実現性の高い事業</li> <li>(3)事業計画に妥当性があり、事業の継続性及び将来的な成長性が期待できる事業</li> <li>(4)地域への貢献度及び波及効果が期待できる事業</li> </ul> <p>2. 対象経費</p> <p>人件費、設備購入費、設備借上料、外注費、委託費、広報費、店舗等借入費</p> <p>3. 実績</p> <p>0件(H28実績:4件)</p>				

事業番号 5	創業支援資金融資制度推進事業			決算額	12,543 千円
				所管課	商工課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一般	12,543 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>          創業者を対象とした運転資金及び設備資金の融資あっせんを行うため、その資金を指定金融機関に預託するとともに、信用保証料を補助する。</p> <p>○指定金融機関への預託          6行(東邦銀行、福島銀行、大東銀行、常陽銀行、白河信用金庫、福島県商工信用組合)に2,000千円づつ預託し、創業者への資金融資の原資として活用。          ※融資実績:4件(融資額:17,500千円)</p> <p>○信用保証料補助          創業者が融資を受ける際の信用保証料を補助          ※保証料補助実績:4件(補助額:542,688円)</p>					

**地方創生推進交付金事業**

事業番号 6	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業 (産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業)			決算額	25,920 千円
				所管課	商工課
財源内訳	国県	10,278 千円 市債	千円 その他	5,364 千円 一般	10,278 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>          (一社)産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域資源や地域産業の強みを活かした「ものづくりの高度化」や「海外展開」などを促進した。</p> <p>○経営改善指導事業          ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理</p> <p>○しらかわ型5S推進事業          ・「足利5S学校」へしらかわ地域企業より2名を派遣し、足利流5Sインストラクターの養成を図った。          ・地元企業に対する5S実践指導</p> <p>○産業技術高度化講習事業          ・3次元CAD等産業技術高度化講習の実施          ・ものづくり講習会の実施 11講座 参加者延べ135名</p> <p>○大規模見本市出展          ・会場:第21回機械要素技術展出展          ・出展社数:6社+産業サポート白河</p>					

事業番号 7	がんばる新規就農者支援事業(地方創生)			決算額	7,500 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一般	7,500 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>          経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の経費を支援し、新規就農者の定着を図った。</p> <p>○ 補助実績          ・ 補助率 定額(1,500千円上限)          ・ 補助件数 5件          ・ 補助金総額 7,500千円          ・ 導入した農業用機械等 8条田植機、ラジコン動噴、汎用トレーラー、パイプハウス等</p>					

事業番号 8	畜産クラスター事業			決算額	16,365 千円			
				所管課	農政課			
財源内訳	国県	12,923 千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,442 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>          白河市畜産振興協議会が策定した畜産クラスター計画に則り、地域の畜産の収益力向上、作業の効率化等に取り組む畜産農家に対し、農業用機械の導入を支援した。</p> <p>○ 補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率 国 1/2、市 1/10 (国補助の機械導入事業については、市の会計を介さず、リース事業者へ直接補助)</li> <li>補助件数 施設整備1件、機械導入3件</li> <li>総事業費 34,426千円</li> <li>補助金額 16,365千円</li> <li>導入した農業用機械 ホイールローダー、ディスクモア、自動給餌機</li> </ul>								

事業番号 9	農畜産物6次化・ブランド化推進事業(地方創生)			決算額	5,161 千円																																
				所管課	農政課																																
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	5,161 千円																													
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>          白河市産の農畜産物を主な原材料とした新商品の開発(商品のネーミング、パッケージデザインの開発等を含む)、その新商品の販路開拓やブラッシュアップを行う取り組みなどに係る経費の一部を支援した。また、定住自立圏構想の取り組みとして「商品画像撮影のコツ講座」及び「6次化商品試食品評会」を開催し、商品の魅力向上のきっかけづくりやバイヤーとの接点の場を設定するなど、販路拡大等に努めた。</p> <p>○ アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助上限額</th> <th>補助実績額 (件数)</th> <th>事業の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内農畜産物販路開拓事業</td> <td>300</td> <td>191 (1件)</td> <td>市内で生産された農畜産物の販路開拓の取組に対する補助</td> </tr> <tr> <td>新商品事業化推進事業</td> <td>800</td> <td>2,970 (7件)</td> <td>新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助</td> </tr> <tr> <td>新商品販路開拓等事業</td> <td>300</td> <td>1,254 (5件)</td> <td>新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4,415 (13件)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 定住自立圏構想関連事業 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業負担金</th> <th>事業の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6次化商品試食品評会</td> <td>165</td> <td>バイヤー等をアドバイザーとして迎え実施した、県南地方で生産される6次化商品の試食品評会。商品の魅力の再発見、生産者間の連携、バイヤーとの接点づくりを実施。</td> </tr> <tr> <td>商品画像撮影のコツ講座</td> <td>117</td> <td>スマートフォンやデジタルカメラを使用し、6次化商品等を魅力的に撮影する方法を学ぶ講座を開催。</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容	市内農畜産物販路開拓事業	300	191 (1件)	市内で生産された農畜産物の販路開拓の取組に対する補助	新商品事業化推進事業	800	2,970 (7件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助	新商品販路開拓等事業	300	1,254 (5件)	新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助	合計		4,415 (13件)		事業名	事業負担金	事業の内容	6次化商品試食品評会	165	バイヤー等をアドバイザーとして迎え実施した、県南地方で生産される6次化商品の試食品評会。商品の魅力の再発見、生産者間の連携、バイヤーとの接点づくりを実施。	商品画像撮影のコツ講座	117	スマートフォンやデジタルカメラを使用し、6次化商品等を魅力的に撮影する方法を学ぶ講座を開催。
事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容																																		
市内農畜産物販路開拓事業	300	191 (1件)	市内で生産された農畜産物の販路開拓の取組に対する補助																																		
新商品事業化推進事業	800	2,970 (7件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助																																		
新商品販路開拓等事業	300	1,254 (5件)	新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助																																		
合計		4,415 (13件)																																			
事業名	事業負担金	事業の内容																																			
6次化商品試食品評会	165	バイヤー等をアドバイザーとして迎え実施した、県南地方で生産される6次化商品の試食品評会。商品の魅力の再発見、生産者間の連携、バイヤーとの接点づくりを実施。																																			
商品画像撮影のコツ講座	117	スマートフォンやデジタルカメラを使用し、6次化商品等を魅力的に撮影する方法を学ぶ講座を開催。																																			

事業番号 10	白河市産米消費拡大及び魅力発信事業	決算額	14,335 千円					
		所管課	農政課					
財源内訳	国県	5,000 千円	市債	千円	その他	千円	一般	9,335 千円

**[主な事業内容と成果]**

白河市産米の販路開拓等による安定的な需要確保のため、販売促進活動に加えて実際に白河市産米に触れる機会の創出及び誘導を図りながら地域イメージの確立に向けて米以外の農畜産物や歴史・文化などの市域資源とともに白河市産米の魅力を発信した。

委託料:13,791千円      旅費:544千円

○実施概要

- ・首都圏及び市内において白河産コシヒカリの新米発売に伴う「販売促進・PRイベント」を開催。
- ・首都圏等において開催される「食の商談会」に出展し白河産コシヒカリの売り込みを行った。
- ・白河産コシヒカリのほか地元農畜産物を使った「料理教室」を全4回開催。
- ・期間限定で白河市産コシヒカリを使用したメニューを提供する「飲食店フェア」を首都圏9店舗で実施。
- ・市内の小学校を対象に出前授業形式の「お米の学校」を市内10校で開催。
- ・白河産米の購入者が応募する方式で特産品等が当たるプレゼントキャンペーンを実施(応募件数:657件)。



【都内百貨店でのイベント】



【お米の学校】



【料理教室】



【プレゼントキャンペーン】

## Ⅱ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

※事業費は決算ベース

事業番号 1	「ふれあいの場」創出事業			決算額	500 千円																									
				所管課	生活防災課																									
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	500 千円																									
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>少子化等により地方における「結婚問題」は、深刻な状況にあるため、定住自立圏の広域的な範囲で「ふれあいの場」創出事業を実施することにより多くのカップル誕生を図るとともに、少子化対策と定住自立の促進を図ることを目的とし、県南9市町村を対象に出逢い創出パーティーを4回(同時に結婚意識形成のセミナー開催)実施した。パーティーには延べ216人の参加があり、39組の男女が互いに好印象を持ち、出会いのきっかけ作りとなった。</p> <p>○決算額 7,553千円(市負担金500千円)</p> <p>○出逢い&amp;ふれあいの会(全てのイベントに際し、事前セミナーを行った)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第3回</th> <th>第4回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>7/22(土)～23(日)</td> <td>9/30(土)～10/1(日)</td> <td>12/2(土)</td> <td>2/3(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>ルネサンス棚倉</td> <td>泉崎カントリービレッジ</td> <td>グランドエクシブ那須白河</td> <td>鹿島ガーデンヴィラ</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>30人</td> <td>33人</td> <td>87人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>カップル数</td> <td>6組</td> <td>7組</td> <td>16組</td> <td>10組</td> </tr> </tbody> </table>							第1回	第2回	第3回	第4回	開催日	7/22(土)～23(日)	9/30(土)～10/1(日)	12/2(土)	2/3(日)	開催場所	ルネサンス棚倉	泉崎カントリービレッジ	グランドエクシブ那須白河	鹿島ガーデンヴィラ	参加人数	30人	33人	87人	66人	カップル数	6組	7組	16組	10組
	第1回	第2回	第3回	第4回																										
開催日	7/22(土)～23(日)	9/30(土)～10/1(日)	12/2(土)	2/3(日)																										
開催場所	ルネサンス棚倉	泉崎カントリービレッジ	グランドエクシブ那須白河	鹿島ガーデンヴィラ																										
参加人数	30人	33人	87人	66人																										
カップル数	6組	7組	16組	10組																										

事業番号 2	病児保育事業			決算額	1,814 千円																		
				所管課	こども育成課																		
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	1,814 千円																		
<p><b>[主な事業内容と成果]</b></p> <p>病気を患い保育所、幼稚園等で保育することが困難な児童を一時的に保育する病児保育施設を白河厚生総合病院敷地内に建設するための実施設計書を作成した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">内 容</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病児保育事業</td> <td>・設計業務委託料</td> <td>1,814</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,814</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	事業費	財源内訳				国	市債	その他	一般	病児保育事業	・設計業務委託料	1,814				1,814
事業名	内 容	事業費	財源内訳																				
			国	市債	その他	一般																	
病児保育事業	・設計業務委託料	1,814				1,814																	

事業番号 3	放課後児童クラブ施設建設事業			決算額	58,846 千円			
				所管課	こども育成課			
財源内訳	国	34,071 千円	市債	11,000 千円	その他	千円	一般	13,775 千円

**[主な事業内容と成果]**

登録児童の安全確保と入会希望者の増加に対応するため、せきべ小児童クラブを建設、白坂第二児童クラブ、白三小児童クラブ及び表郷小児童クラブの増設・改修を実施した。



【せきべ小児童クラブ】

【白坂第二児童クラブ】

【白三小児童クラブ】

【表郷小児童クラブ】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	県	市債	一般
児童クラブ施設建設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務委託料</li> <li>・建設工事費</li> <li>・水道加入金</li> <li>・完了検査手数料</li> <li>・改修工事</li> <li>・備品購入</li> </ul>	58,846	27,349	6,722	11,000	13,775

事業番号 4	特定不妊治療費用助成事業			決算額	3,200 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,200 千円

**[主な事業内容と成果]**

特定不妊治療、男性不妊治療を行った場合、治療に要した費用の一部を助成した。(1回の治療につき、5～10万円の助成を実施)

助成件数(件)	助成額 (千円)
35	3,200

事業番号 5	地域子育て支援拠点事業			決算額	11,287 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	6,730 千円	市債	千円	その他	千円	一般	4,557 千円

**[主な事業内容と成果]**

乳幼児とその保護者が気軽に集い、語り合い、交流する場を開設し、子育てについての相談、子育て情報の提供を行った。

<補助率>

国補助金 1/3 県補助金 1/3

<利用実績>

施設	開設日数	利用状況			
		利用人数(人)			
		子ども	大人	計	1日平均
おひさまひろば	280	5,039	4,591	9,630	34
大信子育て広場	88	559	479	1,038	12
たんぼぼサロン	144	1,190	971	2,161	15
おでかけたんぼぼ	89	784	619	1,403	16
合計		7,572	6,660	14,232	

<歳出決算内訳> (単位:千円)

事業内容	事業費
委託料	11,287

**母子健やか支援事業**

事業番号 6	母子健康支援事業			決算額	3,182 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	720 千円	市債	千円	その他	千円	一般	2,462 千円

**[主な事業内容と成果]**

妊娠・出産・育児に関する総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターを設置し、切れ目のない支援に努めた。

母子健康手帳交付数 423件  
父子健康手帳交付数 419件



【窓口の様子】

○育児支援事業

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)
ことばを育てる教室	3	37
パパママ教室	4	88
離乳食相談会	22	50
すくすく広場	12	112
子育て広場	4	35
おひさま広場育児相談	8	195

○発達支援事業

事業名	実施回数(回)	参加者数(人)
のびのび教室	26	278
発達相談会	7	19
ことばの相談	12	43
心理相談	38	82



## 母子健やか支援事業

事業番号 6	乳幼児健康診査事業	決算額	6,000 千円
		所管課	こども支援課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		814 千円一般	5,186 千円

**[主な事業内容と成果]**  
乳幼児の病気の予防と早期発見、健康の保持・増進及び子育て支援を目的に、月齢に合わせて健康診査を実施するとともに、未受診者には保健師が訪問し受診勧奨や発達の確認を行った。

(単位:人)

健診名	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	469	464
1歳児健康診査	401	387
1歳6か月児健康診査	485	480
2歳児健康診査	425	403
3歳児健康診査	496	490
合計	2,276	2,224

## 母子健やか支援事業

事業番号 6	妊産婦健康診査事業	決算額	50,871 千円
		所管課	こども支援課
財源内訳	国県	421 千円市債	千円その他
		千円一般	50,450 千円

**[主な事業内容と成果]**

○妊産婦健康診査事業  
妊娠出産を支援するため、妊婦健診を15回(妊娠前期1回、妊娠後期1回、その他13回)、産後1か月健診1回の費用を助成し、異常の早期発見と保健指導を行った。

健診時期	妊娠前期	妊娠後期	その他健診	産後1か月	合計
受診者数(人)	425	421	4,215	431	5,492

○新生児聴覚検査事業  
聴覚障がいを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育が受けられるようにするため、検査費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

検査受診者	436人
-------	------

○産後ケア事業  
産後一年以内の母子に対し産後の疲労回復や、母乳育児不安等に対する様々な悩みの解消のため、福島県助産師会に委託し、宿泊や日帰りで助産施設を利用する費用の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。

種別	日帰りケア	宿泊ケア
件数	10	2

事業番号 7	待機児童対策事業			決算額	47,929 千円			
				所管課	こども育成課			
財源内訳	国県	14,666 千円	市債	千円	その他	20,564 千円	一般	12,699 千円

**[主な事業内容と成果]**

保育施設の待機児童を解消するため、おもてごう保育園を増築するとともに、民間小規模保育施設を整備した。



【おもてごう保育園】

【民間小規模保育施設(なないろ保育園)】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国県	市債	その他	一般
待機児童対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務委託料</li> <li>・建設工事費</li> <li>・水道加入金</li> <li>・完了検査手数料</li> <li>・改修工事</li> <li>・備品購入</li> </ul>	47,929	14,666		20,564	12,699

事業番号 8	白河の歴史文化再発見事業			決算額	1,006 千円			
				所管課	学校教育課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,006 千円

**[主な事業内容と成果]**

小学1年生から中学3年生までの9年間を通して、白河の歴史や文化を知り、ふるさとに誇りを持たせるために、小学生は、地域に伝わる昔話を聞き、地域の歴史を学び、茶道を体験した。中学生は、白河から出土した土器に実際に触れ、松平定信の業績について専門家より説明を聞いた。特に小学6年生は、小峰城の石垣崩落現場や運び出された石垣、南湖公園や白河の関などの史跡を見学し、専門の方より説明を聞き、白河の歴史について知識や見聞を広めた。また、その学習で得たことを全児童が「歴史新聞」などにまとめ、市立図書館に掲示し、広く市民にも知らせた。

(単位:千円)

事業内容	事業費
需用費	31
使用料及び賃借料	975
合 計	1,006



【市立図書館の歴史新聞の展示】

学校図書館利活用推進事業

事業番号 9	学校図書館利活用推進事業	決算額	27,879 千円
		所管課	学校教育課
財源内訳	国県 千円市債 千円その他 千円一般		27,879 千円

【主な事業内容と成果】

市立図書館を拠点とした学校司書をこれまでの12小学校に加え、新たに白河第四小学校、釜子小学校、信夫第二小学校、五箇中学校、表郷中学校、大信中学校に配置し、学校図書館の整備をするともに本の貸し出しを電子化した。学校司書が学校図書館に存在することで、児童・生徒が本と出会い、読書をする環境づくりを推進し、児童・生徒が読書の楽しさを実感できる機会を増やすことができた。学校司書を配置した学校では、本の貸し出し冊数が増加するとともに、本の検索件数も増加した。

(単位:千円)

事業内容	事業費
共済費	2,433
賃金	17,050
旅費	1
需用費	2,156
使用料及び賃借料	1,423
備品購入費	4,816
合計	27,879



【学校図書館リニューアル(大信中)】

### Ⅲ 新しいひとの流れをつくる

※事業費は決算ベース

事業番号 1	周遊型観光推進事業			決算額	2,391 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一般	2,391 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>                  多くの歴史的・文化的な観光資産を有し、「歴史的風致維持向上地区」にも認定されているが、情報発信力や点在する観光資源を有機的に結びつけるツールが不足していることから、本市の特色を活かした周遊性向上のための環境整備を推進した。</p> <p>○公衆無線LAN整備事業</p> <p>○観光アプリ関連事業                  「しろナビ」デジタルスタンプラリーの開催</p>					

事業番号 2	南湖公園史跡整備事業			決算額	13,125 千円
				所管課	文化財課
財源内訳	国県	6,448 千円 市債	6,100 千円 その他	千円 一般	577 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>                  整備基本計画に基づき、南湖公園の史跡整備を行う。平成29年度は、南湖北岸の月見が浦の護岸整備を実施し、老朽化した詰杭の更新を図った。</p>					
					
【施工前状況】			【施工後状況】		

事業番号 3	こども夢フェスタ支援事業	決算額	17,700 千円
		所管課	観光課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他
		3,000 千円	一般 14,700 千円

**【主な事業内容と成果】**

ふくしまの子ども達に笑顔を届け、本県の元気を全国に発信することを目的に、全国のご当地キャラクターと本県の子ども達が触れ合う「ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ」を開催する実行委員会に対し補助金を交付し、県南地方の活性化と持続的な発展、観光客の誘致促進を図った。



開催日：平成29年6月3日(土)・4日(日)  
 開催場所：JR白河駅前イベント広場、市立図書館駐車場、白河文化交流館コミネス、JR白河駅前ロータリー  
 イベント参加：178キャラ(県内:64キャラ、県外:114キャラ)  
 キャラクター数 ※彦根市、羽生市と並び全国三大ご当地キャライベントとして認知されており、東北地方では最大規模  
 来場者数：13万人(2日間合計)

【イベントの様子】

**サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)**

事業番号 4	サイクルマップ作成事業	決算額	2,640 千円
		所管課	観光課
財源内訳	国県	1,320 千円市債	千円その他
			千円一般 1,320 千円

**【主な事業内容と成果】**

共同でサイクルツーリズムに取り組む、西郷村と栃木県那須町と本市を結ぶ「やまなみ周遊ルート」を選定し、サイクルマップとして作成した。

また、平成28年度に作成した「白河・西郷」・「那須」のサイクリングマップの更新や増刷を行った。



【「白河・西郷」・「那須」サイクリングマップ】



【やまなみ周遊マップ】

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 4	国内向けプロモーション事業	決算額	3,163 千円			
		所管課	観光課			
財源内訳	国県	1,581 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円	1,582 千円

[主な事業内容と成果]

「サイクルモードインターナショナル」(幕張)や「サイクルエキスポ」(さいたま)等、主に首都圏で開催される自転車展示会等において、誘客に向けたPR活動を行った。

また、関の森公園等を舞台としたサイクルイベントの開催により、本市の魅力を発信し、交流人口の拡大を図った。



【サイクルイベントの開催】



【国内イベントへの出展】

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 4	インバウンド観光推進事業	決算額	616 千円			
		所管課	観光課			
財源内訳	国県	308 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円	308 千円

[主な事業内容と成果]

本市及び西郷村、栃木県那須町の首長等が台湾の旅行会社等を訪問し、トップセールスを行うことで本地域の魅力を力強く発信するとともに誘客を促進し、認知度の向上及びインバウンド誘客の獲得を図った。



【副市長によるトップセールス】



【商談会】

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	二ノ丸御休処施設改修事業		決算額	71,088 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	35,439 千円	市債	30,500 千円	その他	千円	一般	5,149 千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡である「小峰城」を含む城山公園内に立地する「二ノ丸御休処」において、市の特産品等を使用した物販や飲食の更なる充実を図るため、物販ブースと飲食ブースを区分するなど施設の増改築を行った。

敷地面積 郭内1-181 21,988.12㎡  
 用途地域 第一種風致地区  
 用途 飲食店舗  
 構造 木造  
 規模 平屋建  
 建築面積 218.34㎡  
 延床面積 202.89㎡



【二ノ丸御休処】

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	南湖休憩施設改修事業		決算額	68,360 千円				
			所管課	観光課				
原内訳	国県	28,255 千円	市債	22,800 千円	その他	千円	一般	17,305 千円

[主な事業内容と成果]

南湖公園内の「地区計画」を導入しているエリアに立地する「南湖休憩施設」を集客の拠点施設とするため、先駆的に整備、改修を行った。

敷地面積 五郎窪山50-2、51-1、51-2、14 1996.52㎡  
 用途地域 第一種低層住宅専用地域  
 用途 飲食店舗  
 構造 木造  
 規模 二階建  
 建築面積 323.37㎡  
 延床面積 421.77㎡



【南湖休憩施設】

事業番号 6	空き家対策管理事務			決算額	1,553 千円
				所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	1,550 千円一般	3 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>  危険家屋等の修繕、撤去その他空き家の利活用を促進することで、良好な住環境の確保を図る。</p> <p>○空き家バンク制度の運営  公益社団法人福島県宅建物取引業協会白河支部と協力し、空き家の中古住宅市場への流通の促進を図るため、空き家バンクを運営した。  (これまでの実績)  物件登録者数 39件  利用登録者数 66件  契約件数14件(売買8件、賃貸6件)</p> <p>○空き家改修等支援補助事業  (平成29年度の補助実績)  改修補助 1件(実績額 1,500千円)  家財処分補助 1件(実績額 50千円)</p>					

事業番号 7	まちづくり・ひとづくり事業			決算額	5,724 千円
				所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	5,724 千円
<p><b>[主な事業内容と成果]</b>  将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとする多くの若者が集える場である、「コミュニティ・スペース」の運営を行った。</p> <p>○県内地域おこし協力隊との連携事業  福島県全域の地域おこし協力隊が月替わりでコミュニティ・カフェ EMANONを使用し、各地域の魅力をPRした。</p> <p>○しらかわの高校生による6次化マルシェプロジェクト  白河実業高校農業科畜産班の学生、市内事業者と協働し、たまごを使った6次化商品開発に取り組んだ。  また、完成した商品(白河ひよっこプリン)については、東京等で開催されたイベントで販売するとともに、白河のPRを行った。</p> <p>○市長との懇談会  市長と高校生による懇談会を行い、次世代を担う若者が日頃から考えていることなどについて、意見を交わした。</p>					



【白河ひよっこプリン】



事業番号 8	地域おこし協力隊活用事業	決算額	8,442 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他	12 千円 一般	8,430 千円

**【主な事業内容と成果】**

地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度であり、隊員が一定期間地域に居住し、地場商品の開発・PR、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を目指し、地域振興・活性化を図る取り組みである。  
本市では、地域おこし協力隊を2人採用し、大信地域及び東地域で活動している。

**【地域おこし協力隊 嶋本雅之】**

活動内容

- ・イベントの補助、宣伝活動
- ・大信地域の名所、名物の紹介

**【地域おこし協力隊 大石秀敏】**

活動内容

- ・規格外の農産物を活用した商品の開発
- ・他の自治体の地域おこし協力隊との交流
- ・東地域のイベント参加、地域住民との交流
- ・空き家を改修した「蔵カフェ さんぼみち」の経営



【大信地域パンフレット】